

H23年度 放送教育研究委員会 活動報告

1. 平成23年度放送教育研究委員会 第1回総会

日 時：平成23年4月19日(火)14:00～

場 所：甲府第一高等学校

議 題：(1) 平成22年度事業報告及び決算報告について
(2) 平成23年度役員、事務局担当者について
(3) 平成23年度事業計画、日程、予算案について
(4) コンテスト担当校及び審査員等順番について
(5) その他

連 絡：各コンテストについて、NHK指導者講座について、放送連盟賞規定確認について
＊分担金納付、NHKコンテスト等の大会要項配布

2. 県高校総体 開・閉会式 司 会：山崎大輔（甲府第一）伴野文香（山梨英和）

5月11日（水）・13日（金）（小瀬陸上競技場）

3. 第58回NHK杯全国高校放送コンテスト山梨県大会

日 時：平成23年6月18日(土) 8:45～

場 所：ぴゅあ総合（甲府市）

主 催：山梨県高等学校教育研究会教育情報・視聴覚部会、山梨県高等学校文化連盟
NHK甲府放送局

参 加：参加校数23校 参加生徒数259名

審査員：アナウンス部門

泉 浩司(NHK) 小田切邦彦(元委員長) 遠藤学実(韮崎)
朗読部門

角井雅好(NHK) 保坂博文(元委員長) 渡辺美保(甲府商業)

番組部門

中島木祖也(NHK) 広瀬浩次(高校教育課指導主事) 角田具也(甲府南)

運営員：三神幸子(甲府工業) 中澤まゆみ(甲府城西) 山下為子(山梨)

司 会：事務局にて

入賞者： ＊○印の数字は学年を表す

○ アナウンス部門(出場49名)

- | | |
|------------------|---|
| 1 松 村 彩 華 (桂) | ③ |
| 2 小 俣 愛 (都 留) | ③ |
| 3 宮 下 ひかる (富士北稜) | ③ |
| 4 渡 辺 智 香 (吉 田) | ② |
| 5 河 西 江里奈 (巨摩) | ③ |
| 6 小 俣 有芽伽 (桂) | ② |

奨励賞 山 崎 大 輔 (甲府第一) ②

○ 朗読部門 (出場57名)

- | | |
|------------------|---|
| 1 樋 口 将 大 (山 梨) | ② |
| 2 上 野 悠 (甲府東) | ③ |
| 3 松 田 麻 実 (甲府東) | ② |
| 4 原 彩 音 (桂) | ③ |
| 5 上 西 哲 平 (甲府南) | ③ |
| 6 渡 辺 紗 葉 (甲府城西) | ③ |

奨励賞 寺 島 遥 奈 (塩 山) ③

○ 番組部門

＊ラジオドキュメント部門 (出場7校・本数7本)

- | | |
|--------------------------|--------|
| 1 夢現(むげん) | (日 川) |
| 2 Let's go! 社会人 | (富士北稜) |
| 3 パワーアップ!!～ schoolsong ～ | (桂) |
| 4 青春の味～からあげ編～ | (甲府南) |

＊テレビドキュメント部門 (出場8校・本数8本)

- | | |
|-------------------|--------|
| 1 希望の光～シルクと共に～ | (桂) |
| 2 LET'S SPORTS !! | (日 川) |
| 3 僕たちのオシャレ事情 | (甲府第一) |
| 4 共に生きる～障害者と私たち～ | (甲府南) |

奨励賞 ストップ!思いこみ!～あなたにも迫る病魔～
(甲府西)

＊創作ラジオドラマ部門（出場 14 校・本数 14 本） ＊創作テレビドラマ部門（出場 5 校・本数 5 本）

- | | | | | | |
|-----|------------------------|--------|-----|---------------|--------|
| 1 | Let's try!!～手と手を取り合って～ | （桂） | 1 | あおいはる | （甲府東） |
| 2 | 友達屋 | （甲府第一） | 2 | いっしょに。 | （吉田） |
| 奨励賞 | 君の好きなところ | （甲府東） | 奨励賞 | Missing Piece | （甲府昭和） |

○ 校内放送研究発表（出場 3 校・本数 3 本） ＊全国大会への推薦は 2 校以内

- | | | |
|---|---------------|--------|
| 1 | ホームページによる情報発信 | （甲府工業） |
| 2 | 全校参加型の校内放送 | （吉田） |

＊番組部門については出品数に対応した体制を取っていくことが今後の課題である。（川手里佳）

4. 第 58 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト出場者のための練習会

日 時：平成 23 年 6 月 21 日（火）16：00～18：00

場 所：NHK 甲府放送局

指 導：アナウンス 泉 浩司アナウンサー 朗 読 角井 雅好アナウンサー

参加生徒：

（アナウンス）	松 村 彩 華（桂）	小 俣 愛（都 留）
	宮 下 ひかる（富士北稜）	渡 辺 智 香（吉 田）
	河 西 江里奈（巨 摩）	小 俣 有芽伽（甲府西）
（朗 読）	樋 口 将 大（山 梨）	上 野 悠（甲府東）
	松 田 麻 実（甲府東）	原 彩 音（桂）
	上 西 哲 平（甲府南）	渡 辺 紗 葉（甲府城西）

5. 全国高校総体夏季大会 結団壮行式 司 会： 帯谷 真由（甲府西） 7 月

6. 高校野球選手権山梨大会 開会式 司 会：山本 理佳（甲府昭和）
7 月（小瀬球場）

7. 第 58 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト 全国大会（準々決勝・準決勝・決勝）： （東京）

日 時：平成 23 年 7 月 9 日（土）～7 月 10 日（日）（準々決勝）（非公開審査）

場 所：NHK 放送センター

主 催：全国放送教育研究会連盟、NHK

出場校数：12 校（山梨県代表）録音審査

審査員：アナウンス	川手 里佳（富士河口湖）
朗 読	雨宮 和美（富士北稜）
ラジオドキュメント	三浦 和子（吉 田）
テレビドキュメント	小宮由美子（甲府南）
創作ラジオドラマ	名取由利子（甲府東）

第 58 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト 全国大会（準決勝・決勝）： （東京）

日 時：平成 23 年 7 月 27 日（水）～7 月 28 日（木）

場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター（準決勝）、NHK ホール（決 勝）

主 催：全国放送教育研究会連盟、NHK

出場校数：5 校（準決勝進出 3 校＋校内放送研究発表 2 校）

審査員：朗 読	準決勝 島袋あゆみ（桂）
：テレビドキュメント	準決勝 古屋登志子（日 川）

会場係：今年度は無し

運営委員：三浦和子（吉 田）

結 果：朗 読	準決勝進出	上西 哲平（甲府南）	入 選
：ラジオドキュメント	準決勝進出	夢現(むげん)（日 川）	制作奨励賞
：テレビドキュメント	準決勝進出	希望の光～シルクと共に～（桂）	制作奨励賞

＊ 今年度は、東日本大震災の影響で準々決勝が事前審査（非公開審査）となった。そのため上京した生徒は、準決勝進出が決定した生徒（３校）と、校内放送研究発表校（２校）のみとなった。災害の影響でやむを得ない状況での措置と言う事であったが、多くの生徒にとって貴重な学びの場がなかったことは残念に思う。（三浦和子）

参考：全国大会出場数

出場校 537校、アナウンス 294人、朗読 294人、ラジオドキュメント 186本、
テレビドキュメント 181本、ラジオドラマ 98本、テレビドラマ 95本、
研究発表 65本

都道府県大会出場数

出場校 1613校、人員 15888人、アナウンス 3832人、朗読 5904人、
ラジオドキュメント 407本、テレビドキュメント 493本、ラジオドラマ 748本、
テレビドラマ 405本、研究発表 140本

8. 第35回全国高等学校総合文化祭 福島大会放送部門

作品審査会

日時：平成23年9月3日（土）～4日（日）9:00～

会場：福島テルサ

（平成23年8月3日（水）～8月7日（日） ビッグパレット福島にて開催予定でした）

主催：全国高等学校文化連盟

出場者（出場校）：

アナウンス部門

- 1 古屋 明日香（塩 山）
- 2 河 西 江里奈（巨 摩）
- 3 林 聖 海（甲府西）

朗読部門

- 1 上 野 悠（甲府東）
- 2 田 中 美 久（都 留）
- 3 上 西 哲 平（甲府南）

番組部門

＊オーディオピクチャー部門

- 1 Sound History ～奏でる思い～（桂）

＊ビデオメッセージ部門

- 1 心の架け橋 クラインガルテン（甲府南）
- 2 DREAMS COME TRUE（甲府東）

＊ 総文祭福島大会の放送部門は、東日本大震災の影響で、作品を送付して審査だけしていただくという形で実施することになった。従来のような形では参加できなかったが、福島大会を経験させていただいたことに、生徒達と共に心から感謝申し上げたい。（小林理恵）

参 考：福島大会参加作品数 432点

アナウンス 144点、朗読 144点、ビデオメッセージ 96点、オーディオピクチャー 48点

※ 全国顧問会議は、7月26日に国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）にて開催され、小林理恵（甲府第一）が参加。

9. 平成23年度YBS杯県下高校放送コンテスト

日時：平成23年9月10日（日）9:30～

場所：山梨市民会館

主催：山梨県高等学校教育研究会教育情報・視聴覚部会、山梨県高等学校文化連盟
山梨放送

参加：参加校数 25校 参加生徒数 179名

審査員：アナウンス部門

依田 智子（山梨放送） 保坂 高志（北杜） 中澤まゆみ（甲府城西）

朗読部門

浅川 初美(山梨放送) 山下 為子(山梨) 名取由利子(甲府東)

番組部門

児玉 久男(山梨放送) 三神 幸子(甲府工) 川手 良之(富士北稜)

運営員： 西尾はずき(甲府西) 渡辺美保(甲府商) 畠山尚也(桂)

司 会： 開会式・長坂教子(山梨学院) 閉会式・小林理恵(甲府第一高校)

入賞者：

○ アナウンス部門(出場 46 名)

- 1 渡邊 真 希 (日 川) ②
- 2 伴野 文 香 (山梨英和) ②
- 3 小俣 有芽伽 (桂) ②
- 4 小田 義 明 (韮 崎) ①
- 5 渡辺 智 香 (吉 田) ②
- 6 鎌倉 史 歩 (富士河口湖) ②

○ 朗読部門(出場 55 名)

- 1 林 聖 海 (甲府西) ②
- 2 小林 未 来 (甲府東) ①
- 3 樋口 将 大 (山 梨) ②
- 4 山本 理 佳 (甲府昭和) ②
- 5 笠井 貴 之 (甲府工業) ②
- 6 羽田 尚 之 (吉 田) ②

○ 番組部門

*ラジオ番組制作部門(出場 9 校・本数 9 本) *テレビ番組制作PR部門(出場 12 校・本数 21 本)

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1 思いは一つ (桂) | 最優秀賞 河高ダンディーズ (富士河口湖) |
| 2 RE:start (韮崎) | 優秀賞 Let's 検索!! (日川B) |
| 3 ほんとうのたからもの(甲府東) | 優秀賞 君たちに伝えたい (桂 B) |
| | 奨励賞 一高の若き英雄 (甲府一B) |
| | 奨励賞 数学界のプリンス (甲府南B) |
| | 奨励賞 桂の光〜ルーキー小高 (桂 A) |
| | 奨励賞 小泉圭二のリフティングライフ (北 杜) |
| | 奨励賞 Mr. ODA (甲府東) |

10. 平成 23 年度放送教育研究委員会 第 2 回事務局会議

日 時：平成 23 年 10 月 11 日(火) 13:30 ～ 15:00

場 所：日川高校

参加者：小林 理恵(甲府一) 三浦 和子(吉 田) 古屋登志子(山 梨)
西室 聡子(塩 山) 長坂 教子(山梨学院) 名取由利子(甲府東)
川手 里佳(富士河口湖) 小宮由美子(甲府南)

議 題：(1) 平成 23 年度山梨県高等学校芸術文化祭放送部門について
(2) 第 9 回関東地区高校放送コンクール(山梨大会)の準備について
(3) NHK 杯、YBS 杯コンテストを終えて来年度の大会運営について
(4) その他

11. 平成 23 年度放送教育研究委員会 第 2 回総会

日 時：平成 23 年 10 月 11 日(火) 15:00 ～ 17:00

場 所：日川高校

議 題：(1) 平成 23 年度山梨県高等学校芸術文化祭放送部門について
(2) 第 9 回関東地区高校放送コンクールについて
(3) その他

*平成 23 年度山梨県高等学校芸術文化祭放送部門のエントリー順の抽選を行った。

12. 第 32 回山梨県高等学校芸術文化祭 総合開会式・パレード 司 会 11 月 10 日(木)

総合開会式： 渡邊 真 希 (日 川) 小田 義 明 (韮 崎)

パレード： 林 聖 海 (甲府西) 小林 未 来 (甲府東)

パレード記録：富士河口湖高等学校、甲府南高等学校

13. 第 32 回山梨県高等学校芸術文化祭放送部門

日 時：平成 23 年 11 月 6 日（日）9:00 ～

場 所：甲府第一高等学校

主 催：山梨県高等学校文化連盟

参 加：参加校数 20 校 参加生徒数 157 名

審査員：アナウンス部門・朗読部門

角井雅好（NHK 甲府） 壬八千代（声のプロ・言語朗） 丹澤真理子（山梨英和）
：番組部門

児玉久男（山梨放送） 佐藤泰男（テレビ山梨） 三浦和子（吉田）

運営員： 大代章子（甲府昭和） 小宮由美子（甲府南）

司 会： 小林 未来（甲府東）

入賞者および入賞校：

○アナウンス部門（出場 18 名）

○朗読部門（出場 20 名）

芸術文化祭賞 小俣 有芽伽 （桂）	②芸術文化祭賞 松田 麻 実（甲府東）	②
優秀賞 林 聖 海（甲府西）	② 優秀賞 山本 理 佳（甲府昭和）	②
優秀賞 沢登 茜（甲府南）	② 優秀賞 行田 奈 央（山梨英和）	①
奨励賞 渡邊 真 希（日 川）	② 奨励賞 秦 弘 安（桂）	②
奨励賞 金子 杏（山梨英和）	① 奨励賞 新藤 若 菜（韮 崎）	②
奨励賞 菅原 由希菜（甲府昭和）	② 奨励賞 山島 幸 樹（北 杜）	②

※芸術文化祭賞 1、優秀賞 2 は第 36 回全国高等学校総合文化祭富山大会に推薦。

奨励賞各 3 は関東大会（栃木）に推薦。

○番組部門

*オーディオビジュアル部門（出場 7 校）

*ビデオメッセージ部門（出場 11 校）

芸術文化祭賞 桂

芸術文化祭賞 北 杜

優秀賞 日 川

優秀賞 甲府南

優秀賞 吉 田

優秀賞 桂

奨励賞 甲府南

奨励賞 甲府東

※ オーディオビジュアル部門は芸術文化祭賞 1、ビデオメッセージ部門は芸術文化祭賞 1 優秀賞上位 1 を第 36 回全国高等学校総合文化祭富山大会に推薦。

また、下位の中からオーディオビジュアル部門 1、ビデオメッセージ部門 1 を関東大会（栃木）に推薦。

* 3 つのコンテストの中で唯一学校会場で実施の大会で、会場校の機材提供、補助生徒の協力が大きかった。（古屋登志子）

14. 全国高校総体冬季大会 結団壮行式 司 会：渡辺 智香（吉田） 12 月 （教育センター）

15. 平成 23 年度 校内放送指導者講座

日 時：平成 23 年 12 月 26 日（月）～ 12 月 27 日（火）

会 場：千代田放送会館（東京都）

主 催：全国放送教育研究会連盟、日本放送協会（NHK）

共 催：日本放送教育協会

対 象：（1）高等学校放送部（委員会・同好会）の指導に当たる者

（2）各都道府県高校放送コンテスト担当者及び放送コンテストの審査に当たる者

参加者：西尾はずき（甲府西） 飯室恭代（都留） 古屋登志子（日川） 丹澤真理子（山梨英和）
計 4 名が参加。

16. 第9回関東地区高校放送コンクール

日 時：平成24年1月29日（日）9:10～

会 場：栃木県 白鷗大学 東キャンパス

主 催：関東地区高等学校文化連盟 関東地区高等学校文化連盟放送部会

共 催：栃木県高等学校文化連盟

山梨県代表生徒・団体について：

○ アナウンス部門（3名）

渡 邊 真 希（日 川）

金 子 杏（山梨英和）

菅 原 由希菜（甲府昭和）

○ 朗読部門（3名）

秦 弘 安（桂）

新 藤 若 菜（韭 崎）

山 島 幸 樹（北 杜）

○ ビデオメッセージ部門（1校）

桂 高校

○ オーディオピクチャー部門（1校）

日川 高校

結 果：優秀賞 ビデオメッセージ部門 「いきがい」 桂高校

優良賞 オーディオピクチャー部門 「ふるさと いちばんずら！」 日川高校

※関東地区高等学校放送部顧問代表者会議（栃木県）

参加者：小林 理恵（甲府第一）

***平成24年度（平成25年1月）に行われる第10回大会（記念大会）は、埼玉県で開催されます。**

17. 平成23年度 顧問・生徒研修会

日 時：平成24年2月5日（日）8:30～

場 所：甲府南高校

参 加：参加校数 18校 148名

講 師：アナウンスの実践 依田智子（山梨放送）

朗 読の実践 浅川初美（山梨放送）

番組制作の実践 児玉久男（山梨放送）

内 容：全体会（8:50～9:00）

研修会（9:00～11:30）

山梨放送様の全面的なご協力の下、アナウンス・朗読・番組3会場同時に研修を実施。実習を含んだ大変有意義な研修となった。

18. 平成23年度放送教育研究委員会 第3回事務局会議

日 時：平成23年2月5日（日）9:30～12:30

場 所：甲府南高校

参加者：小林 理恵（甲府一） 三浦 和子（吉 田） 古屋登志子（山 梨）

西室 聡子（塩 山） 長坂 教子（山梨学院） 名取由利子（甲府東）

川手 里佳（富士河口湖） 小宮由美子（甲府南）

議 題：（1）平成24年度各放送コンテスト・研修会・総会の時期・会場について

（2）平成24年度委員長・副委員長・役割分担について

（3）平成24年度第59回NHK杯全国高校放送コンテストについて

（4）平成24年度YBS杯について

（5）平成24年度山梨県高等学校芸術文化祭放送部門、全国高等学校総合文化祭について

（6）第10回関東地区高校放送コンクールについて

（7）平成24年度放送生徒・顧問研修会について

（8）会計報告について

(9) その他

＊コンテストでは回を重ねる毎に参加人数、作品数が増加している事から運営面においての工夫・改善の必要について、また事務局の役割分担について、関東大会（記念大会）について等話し合われた。

19. 平成 23 年度山梨県高等学校放送連盟賞：表彰状配布 2 月
申請学校数 19 校 表彰生徒数 56 名

20. NHK 杯全国高校放送コンテスト担当者会議： 3 月 24 日（土）（東京）
川手 里佳（富士河口湖） 三浦 和子（吉 田）が参加。

21. 総 括

今年度は、3 月 11 日の東日本大震災が、放送部門の全国規模のコンテストにも影響を与えた。7 月に東京で行われた NHK 杯全国高校放送コンテストは、準々決勝が非公開審査になり、8 月に福島で行われる予定だった全国高等学校総合文化祭放送部門は、作品審査のみになった。全国の高校生同士で交流したり刺激を与え合ったりする機会が減ったのは残念ではあったが、各大会の事務局の方々が、震災後の苦しく不確かな状況の中で、放送活動に携わる高校生達のために全力を尽くしてくださったことは、本当に有り難く心から感謝申し上げたい。

例年に引き続き、今年度も県外大会における山梨県勢の活躍ぶりは目覚ましく、日頃の生徒達の熱心な活動や先生方の丁寧なご指導の成果であると思う。また、昨年度は関東地区高校放送コンクールが山梨県で開催されたため実施しなかった研修会を、今年度は山梨放送様のご協力により再開することができ、現 1・2 年生の部員にとっては初めてのプロによる直接指導ということで、今後の活動の励みにしてくれることを願っている。

（文責 委員長 小林 理恵）